

周甲記念展観目録

春日教授還暦記念會

<https://hdl.handle.net/2324/7361903>

出版情報 : pp. 1-13, 1938-05-28. 春日教授還暦記念會
バージョン :
権利関係 :



昭和十三年五月二十八日

周甲記念展觀目錄

春日教授還曆記念會

私は、今春還曆を以て教職を辭するに當り、學部から命ぜられた一場の記念講演を試みると共に、此の機を以て家藏圖書の或物を展して、來聽者の觀覽に供へることとした。選んで萬葉集に關するもの若干を得たが、もとより珍書稀籍と稱すべきものではない。中には通行流布のもの、殊に零卷缺帙をさへ交へたのであるが、それらは唯古書の標本として、或は古人篤學の片影として見るに足れば幸である。若しそれ終に加へた駁雜な小稿等に至つては、眞の附贅といふべきものである。

昭和十三戊寅年五月

春日政治

周甲記念展觀目錄

一 萬葉集關係書籍

一 中院本萬葉集

寫本全二十卷

良恕法親王本ヲ寛永十八年ニ奈良春日ノ祠官辰市祐長ガ書寫シタルモノヲ、更ニ元祿二年ヨリ四年ニカケテ奈良ノ與力玉井定時ノ書寫シタルモノ。題簽ハ近衛家熙（豫樂院）ノ筆。

二 萬葉集書入本

寫本全二十卷

朱墨ノ書入ノ中ニ、伴信友ガ「萬葉微」玉の小琴」ヲ書込ミシモノアリ。尙小田清雄ノ朱書アレバ、一時其ノ有ニ歸セシコトアルナルベシ。

三 假名書萬葉集

寫本全二十卷

奥書ニ「本云斯書以源順自筆爲家之證本書寫之功畢、司農少卿伊行、永曆元年孟春日」トアリ。本文ハ假名書ニシテ右傍ニ漢字ヲ充ツ、拾穗抄本ノ本文ニ似タレド亦同一ニハアラズ。

(參考) 萬葉集字都誌

四 活字附訓本萬葉集

零本二冊(卷一・四)

異筆ノ書入多クアリ。二冊トモ卷末ニ、植松有信本ヲ以テ文化元年市岡孟彦ガ書入校合シタル由ノ識語見ユ。

五 古萬葉集

本活字本全二十卷

所謂土佐版ニシテ、土佐ノ今村樂ガ横田美水ト共ニ、白文研究獎勵ノ爲、無點ヲ以テ享和三年刊行シタルモノ。

六 元曆本萬葉集

影印本三冊(卷一・二・七)

弘化年間刊行ニテ流布ノモノ。故大口鯛二氏舊藏本。

七 古葉略類聚鈔

寫本零本三冊(卷八・十二・不詳)

江田世恭本(安永六年十月寫)ヲ寫シタルモノ。コノ原本ノ錯簡ノマ、傳ヘラレタル跡ヲ見ルベシ。

(參考) 古葉略類聚鈔新刊本

八 萬葉集東歌疑問

寫本全一冊

稻掛大平ノ問ト之ニ對スル本居宣長ノ答トヲ記シタルモノ。年代不詳ナレド、終ニ附シタル書簡ノ「丁巳五月十三日」ハ恐ラク寛政九年ナルベシ。

九 萬葉集長歌抄

寫本全三卷

萬葉集ノ長歌ヲ卷ノ順序ニ抄出シ句格ヲ考察シタルモノ。撰者年代不詳。

(參考) 萬葉長歌類葉抄(小塚直持輯)

一〇 長歌言葉珠衣

寫本零本三冊(卷一・二・五)

原本六卷。小國重年著享和元年成、「明治四年十月終ル」トイフ書寫ノ識語見ユ。

(參考) 歌文珍書保存會本

一一 萬葉集抄 上

寫本一冊

仙覺抄ノ一部ヲ正徳六年曆ノ紙背ニ拔書セルモノ。筆者不詳。

一二 萬葉集師説

寫本零本六冊（卷一・二・四・五・六・八）

原本五十二卷、海北若冲著。契沖ノ講義ヲ記シタルモノ。

一三 萬葉考

刊本全三冊（卷一・二・別記）

賀茂真淵著、明和五年仲春刊記本、上代様綴デ方ノ大型本ニシテ、眞淵ノ藏印アリ。

一四 萬葉考青柳種麿本

寫本全二十卷並ニ人麻呂集一卷

流布ノ萬葉考ト異ナル所多シ。文化七年ヨリ八年ニカケテ高尾榮滿（傳未詳）ノ書寫シタルモノ。

一五 萬葉集注

寫本一冊（卷三）

略解ノ拔萃。

（參考）萬葉集略解

一六 萬葉集美夫君志

活版本全一冊（卷一上）

木村正辭著、明治二十二年大八洲學會刊行。コノ書最初ノ刊本、而モコノ一冊ノミニテ續刊ナシ。内容新刊八冊本ト異ナルモノアリ。

（參考）萬葉集美夫君志八冊本

一七 萬葉集私刪

活版本全二冊

森田義郎著、上卷明治三十六年、下卷同三十九年刊、集中ノ秀歌百七十餘首ヲ拔キ評釋シタルモノ。

（參考）新探百首解

一八 萬葉集語釋

寫本全一冊（卷一・二）

萬葉集見安ノ寫本ナリ。

（參考）萬葉集見安

一九 萬葉集問目

寫本全七卷

本居宣長問、賀茂真淵答。

朽木文庫舊藏本。眞淵全集ノ解説ニヨルニ、全集本ハモトコノ書ノ傳寫本ニ依リタルガ如シ。

二〇 萬葉集玉乃小琴

木活字本全二卷

本居宣長者、天保九年齋藤彦麻呂ノ刊行ニ係ル。

(參考) 玉の小琴寫本

二一 萬葉集問聞抄

寫本全三卷

田中道麻呂問、本居宣長答。寛政十年ノ城戸千楯奥書本ヲ寫シタルモノ。

(參考) 刊本萬葉集問答

二二 萬葉集奇異の言葉

寫本零本一冊

撰者年代不詳。卷首ニ「萬葉抄の中奇異の言葉をこゝにあつめ記而已、拔書前後有へし」トアリ。

二三 萬葉集作主履歷

寫本零本五冊(卷二・三・四・五・七)

原本九卷、海北若冲著。

二四 萬葉集名寄

刊本零本三冊(上下ノ三冊)

原本四卷、下河邊長流著、萬治二年祖冲跋、宮本平兵衛開板。

二五 萬葉集名所類聚

寫本全一冊

内題ニハ「萬葉集地名部類」トアリ、撰者年代不詳、集中ノ地名ヲいろは別ニ類聚シ略解本
校異本ノ丁數ヲ附シタルモノ。

二六 萬葉集類句

刊本全卷合一冊

長野美晴編、寛政十一年跋、集ノ短歌・旋頭歌ノ句ヲいろは順ニ類聚シタル索引ナリ。

(參考) 萬葉集類句(賀茂季鷹編)

二七 萬葉集詳解索引

寫本三卷合二冊

撰者年代不詳、集ノ語彙ヲ五十音順ニ類聚シ丁數ヲ附シタルモノ。第一冊末奥書ニ「明治三十九年六月三十日は澤武男寫之」トアリ。

二八 萬葉集書目

刊本全一卷

木村正辭著、慶應二年觀齋社刊行。

萬葉集書目提要中ノ書名ノミヲ抄出シ、外錄トシテ木村正辭博士ノ萬葉集ニ關スル著述ヲ舉ゲタリ。

コノ書ハ「慶應二丁卯四月廿一日木村莊之」(二ハ三ノ誤寫)トイフ博士ノ自署アリ、且「瀧故堂文庫」ノ舊藏ニカ、ル。

(參考) 萬葉集書目提要

二九 萬葉集古義總論

刊本全四冊

鹿持雅澄著、明治二十四年宮内省刊行、故大和田建樹氏舊藏本。

三〇 釋萬葉集附錄假名遣

寫本一卷

源光圀撰、奥書ニ「右此一冊山岡凌明子より乞請而書寫終、明和七庚寅三月廿五日素丸書」トアリ。

三一 萬葉集假字梯

刊本全一卷

釋春登著、萬葉用字格ノ題名ヲ改メタル後刷本。

(參考) 萬葉用字格

三二 萬葉集會說

寫本全一卷

上田秋成著、集ノ解題ナリ。寛政九年城戸千楯ノ奥書アリ、織戸五百根舊藏本。

三三 倭訓栞書入本

刊本四十五卷合十三冊

谷川士清著ノ倭訓栞ニ福岡藩士上原定賀(原田ノ代官)ガ萬葉集ノ語例ヲ書入レタルモノ。長野芳齋舊藏本。

二 萬葉集關係筆蹟・碑文等

一 幸于吉野宮之時柿本人麿作(卷一) 尾島安都之書

二 柿本朝臣人麻呂羈旅歌(卷三) 加藤千蔭書

- 三 天平五年三月笠金村贈入唐使歌（卷八）二川相近書
- 四 大伴家持往布勢水海道中馬上口號（卷十八）大隈言道書
- 五 山上臣憶良詠鎮懷石歌（卷五）深江碑石拓本
- 六 大和國櫛本村歌塚碑並に碑陰文拓本
- 七 大和國柿本村柿本大夫人麻呂之墓並に碑陰文拓本
- 八 播磨國明石人麻呂廟碑銘 藝藩山口直方寫
- 九 石見國高角山柿本神祠碑銘（人丸事跡考）
- 一〇 近江國蒲生郡麻生村赤人廟碑文拓本
- 一一 上水戸源相公萬葉集代匠記序契沖書版本
- 一二 鹿持雅澄墓志拓本

三 萬葉集に關する舊稿

- 一 眞 土 山 奈良文化創刊號
大正十二年二月刊
- 二 萬 葉 神 觀 敬神教育二十七
大正十二年七月刊
- 三 柿 本 人 麻 呂 家事研究四ノ八
大正十二年八月刊
- 四 作を通して見たる人麻呂 やまと一ノ三
大正十三年三月刊
- 五 奈良朝人の擬聲語 奈良文化四
大正十三年六月刊
- 六 萬葉集の肥人について 同 六
大正十四年五月刊
- 七 書 蠹 閑 語 同 八・九
大正十五年四月・昭和二年七月刊
- 八 撰集萬葉徵について アララギ二十ノ二
昭和二年二月刊
- 九 撰集に採られた萬葉集の歌 奈良文化十
昭和二年四月刊

- 一〇 古今集刪修と萬葉集の歌
國語國文の研究十二・十三
昭和二年九月・十月刊
- 一一 認字の和訓についての疑問
奈良文化十二
昭和二年十月刊
- 一二 方言聯想 一一一
同 十五
昭和三年十一月刊
- 一三 萬葉人の歌へる北九州
能古
昭和四年五月―同五年六月刊
- 一四 速水行道のことども
奈良文化十七
昭和四年十一月刊
- 一五 認字和訓再考
同 十八
昭和五年五月刊
- 一六 青柳種信の「島門」の考から
能古三ノ一
昭和六年一月刊
- 一七 萬葉集の訓義と古經卷の施點
萬葉學論纂
昭和六年三月刊
- 一八 雲出鳥還處漫筆
能古三ノ三
昭和六年三月刊
- 一九 古代の歌と九州
短歌講座
昭和七年六月刊

- 二〇 萬葉集を通して觀たる古代の國民精神
八幡興風會講演梗概
昭和九年一月刊
- 二一 萬葉考をめぐつて
九大國文學會誌九
昭和十年六月刊
- 二二 「萬葉考をめぐつて」補正
同
昭和十一年三月刊
- 二三 几 上 小 篇
同 十一
昭和十一年七月刊
- 二四 萬葉集卷十一の釋
萬葉集總釋第六
昭和十一年八月刊
- 二五 西府梅花宴
九大國文學會誌十四
昭和十三年三月刊
- 二六 新聞所載の短文數篇

以 上

昭和十三年五月二十八日

【非賣品】

九州帝國大學法文學部内

發行人

春日教授還曆記念會

福岡市渡邊通り四丁目

印刷人

間 藤 次 郎